



1
長襦袢のえりには襟芯を通し、袴のすそから長襦袢が覗いてこないように、左を前に、短めに着付けます。腰ひもを使いウエストの部分で結びます。



2
襟元をきっちりと合わせ、腰ひも、伊達締めで仕上げます。



3
長襦袢の上に、着物をはおり、長襦袢の襟が覗かないように、長襦袢・重ね襟・着物を洗濯ばさみで止めておきます。



4
着物も長襦袢同様、短めに着付けます。ウエストをしっかりと腰ひもで結びます。



5
下前(右側)にコーリンベルトをはさんで、後ろへまわします。(この時、着物と重ね襟をきっちり合わせておくこと)



6
後ろから前にコーリンベルトを回して、上前(左側)にはさみます。



7
襟元をきれいに整えて、腰ひもと伊達締めで結びます。



8
袴下帯を後ろから前に2回まわします。この時、袴の位置を決めておいてください。(丈が長すぎたり短すぎたりないように)



9
帯の長い方が上にくる様に、一度結んでおきます。



10
帯の長い方を20cmくらいにたたみます。



11
背中の中真ん中でタックをとり、リボンを作ります。



12
短い方の帯を上から通して、下へ引き下ろします。(帯結びはあまり大きくならないようにします)



13
袴は、ひもが太く、白いヘラがついている方が後ろ。細いひもの方が前になります。



14
袴の中央に立ちます。



15
前は、袴下帯が2~3cm見えるくらいの位置に合わせます。



16
後ろから見たところです。



17
背中ではひもを交差させ、一度結びます



18
前にもう一度ひもをまわして、右前で交差させます。



19
後ろへまわして、帯の下で結びます。



20
袴の後ろのヘラをひもと帯の間に挟みます。



21
背中のでふくらみがあまり高くなりすぎないように整えます。



22
前へひもをまわして、右側で交差させます。



23
一度結びます。



24
リボン結びを作ります。



長い方のひもを下から通します。



通したひもを前にたらしめて結びをきれいに整えます。



完成です！



真横から見たところ